

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、和地圏域） 第3回会議 議事録

開催日時	令和5年2月28日（火） 13:30から15:00まで
参加者	委員：17人 事務局：4人 関係者：8人（高齢者福祉課2人、長寿保険課1人、国保年金課1人、協働センターコミュニティ担当職員1人、包括2人、市社協地域支援課1名） 合計29人
場所	和地協働センター ホール
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 新規委員紹介 民生委員改選に伴い新規委員紹介。</p> <p>3. 前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度外出先調査にて地域外に出かける人が多い事が見えた。地域内の買い物先情報を集約し地域情報マップを作成し、住民に配布を行うことで生活が便利になると判断し、地域情報マップの作成を始めた。 ・第2回協議体会議では、地域情報マップ掲載確認作業の担当分けを行った。掲載確認書については協働センター等の協力を得て事務局が回収した。 <p>4. 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域情報マップ進捗報告、掲載内容の確認について 情報マップの素案を基に別紙資料内容について確認項目やマップ内容等確認を行った。意見をマップに反映し、地域ごとの確認作業を進める。 ②次年度協議体会議の計画について 次年度は情報マップ作成作業と両立し、地域にある社会福祉法人や企業等とネットワークを図ることを目的に情報共有を行う会議体とすることで承認を得る。 <p>5. 徘徊訓練について／地域包括支援センター和地 伊佐見地区で実施した認知症高齢者徘徊訓練の様子について共有。</p> <p>6. 浜松市高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関する報告について ／国保年金課 和地圏域にて実施したアンケート結果について説明。</p> <p>7. 連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①印刷費について 地域情報マップ作成に関わる印刷費について、西区地域力向上事業の補助金の申請を検討している。補助金自体1/2補助の為、半分（約1万円程度）は地域で負担を依頼。 ②次年度協議体委員の報告について 次年度委員が変わる予定のある団体から連絡を依頼。 ③協議体会議報告書について 配架および説明依頼 ④次回会議開催予定

	<p>日時：令和5年6月6日（火）13：30 会場：未定（開催通知で確認）</p> <p>⑤地域状況の共有 庄内地区にて開始したマックスバリュの移動販売の様子を投影、チラシ配布にて共有。</p> <p>（意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内地区の移動販売は、ぷらっと庄内がとくし丸の販売を進め現在販売が行われている。今度はマックスバリュを召致し販売を始めた。住民にとって二か所企業が販売に来ることは相乗効果が期待されるというが、住民（買物客）の取り合いになり移動販売がなくなることも考えられるのではないかと。 ・マックスバリュから自治連の回覧に移動販売の情報を回してほしいという相談があった。自治連の統一見解として、一つの事業所の情報を地域に出すことはできない。これは協議体で進めていることか。 <p>→協議体では地域高齢者の生活の課題等について共有や過去に企業が行う移動販売の情報共有を行った。その中で庄内地区がとくし丸の販売を開始した。チラシの件については協議体では分り兼ねる。</p> <p>6. 閉会</p>
<p>今後の見通し等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域情報マップの内容確認を行い、発行および住民への配架を行う。 ・自治会、地区社協選出の委員が毎年変わる圏域であるため、現委員からの新規委員への引継ぎを依頼するとともに支援を行う。